

① 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-71	中学校	国語	国語	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
15・三省堂	国語・929		現代の国語3	

1 編修の趣旨および留意点

この教科書は、確かな学力と豊かな心の基盤となる「ことばの力」を身につける学習をとおして、「自己の形成・向上に努め、社会と文化の創造的で主体的な担い手として自ら学び続ける資質・能力を育成すること」を教育理念において編修しています。具現化にあたっては、特に次の3点に留意しました。

1 自ら学ぶ力を育てる
学び方を身につけ、学ぶ楽しさを体験し、主体的に学ぶ意欲を養います。

2 かかわり合う力を育てる
想像力・情緒力・対話を身につけ、他者を尊重し、社会とかかわる力を養います。

3 実践的なことばの力を身につける
確かな知識と技能、豊かな心と思考力にもとづく、文化の担い手としての国語力を身につけます。

2 編修の基本方針

教育基本法に掲げられた目標を達成するために、次の6点を編修の基本方針としています。

1 確かな学力を身につける

●学習の系統性 ●基礎・基本の徹底

学校生活に沿った学習活動が組織できる教材・構成であるとともに、学習の系統性を重視し、それぞれの学年・教材で身につける知識・技能（つきたい力）の重点を明確に示しました。すべての領域の教材は、小学校とのつながりをふまえ、基礎・基本に確実に取り組むことのできるものからスタートし、身につけた力を繰り返し活用しつつ、新たな力を段階的に習得していくことができるように系統的に配列しています。

2 自ら学ぶ力を育てる

●学ぶ意欲と実感 ●見通しと振り返り ●学び方を学ぶ

学習者が確かな目的と見通しをもち、学び方を意識しながら学習に取り組み、その過程を振り返って、達成感と以後の学習に生きる成果を自覚する、という学習の流れを重視しました。「やってみようという意欲」「わかる、できるという実感」を自律的・持続的な学習を支える根幹に位置づけています。興味・関心のもてる文章や作品あるいは題材、わかりやすい学習過程、達成感を感じることでできるゴール、以後の学習に活用できる「学び方を学ぶ」機会と場も含めた振り返りを意識して学習を構成しました。

3 かかわり合う力・豊かな心を育てる

◎ 共同的学习 ◎ 感性・想像力・情緒力

他者とかかわり、集団で考え、話し合い、協働する体験を、人格形成のうえでも、社会を創造的・主体的に形成する学び手を育成するうえにおいても不可欠なものとして捉え、個の学習を保障しつつ、交流・協働する活動をとおして、自己の思いや考えを深めたり、集団として問題解決を図ったりしながら、意見や提案、成果物を協働で創り上げる知識と方法、自他の敬愛と協力を重んずる態度を体験的に学ぶ機会を確保しました。日常生活や現実社会の課題をめぐるものから、防災などのような課題を仮想して行うもの、楽しく創造的に行うものまで、他教科の学習や実社会に生きる力にも対応した豊富な教材をそろえています。また、文学教材においては、他者（家族や友人も含む自分以外の人々）との喜びや悲しみの共有、いたわりや思いやりなどの核となる感性や想像力、豊かな情操と道徳心を培うことに資する優れた作品を教材化しています。

4 現代社会の課題に向き合い、解決する実践力を育てる

◎ 対話・合意形成 ◎ 論理的思考力 ◎ 多様なものの見方や考え方

価値観の多様化、グローバル化、情報化などの時代の動きがもたらす現代社会の課題に、社会の構成員として粘り強く取り組む姿勢を養い、積極的に問題解決にあたるために、対話や合意形成などの具体的方法や考え方、そのために欠かせない論理的な思考力・判断力・表現力に培う教材を開発しました。また、古代から現代、日本および世界、言語・文化・自然・科学・社会・芸術・スポーツなど、幅広く多岐にわたる領域と多角的な視点から捉えたテーマや課題を対象とし、多様で豊かなものの見方や考え方をひらく教材を配列しています。

5 ことばと文化の担い手を育てる

◎ 伝統的な言語文化 ◎ 豊かな言語感覚 ◎ 郷土愛

伝統的な言語文化を重視し、アイデンティティの確立と文化の担い手としての知識と自覚を有するために中学校段階で読んでおきたい作品や触れておきたい言語文化や言語芸能を取りあげて、現代におけるそれらの意味を価値づけしながら、知識と感性の双方から理解と親しみを深め、豊かな言語感覚をはぐくむことができるように教材化しました。取り立て教材の他にも、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」など各領域の学習題材として位置づけ、私たちの生活の中に伝統文化がいかに深く根づいているかを実感し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことができるように、全領域をとおして多様な学習場面・多角的な学習活動を設けています。

6 読書活動・情報リテラシーの充実

◎ 読書の習慣化 ◎ 情報活用力

読書活動、情報の収集・選択・発信活動を重視し、図書をはじめとする各種情報に適切にアクセスし、情報を的確に収集・選択・調査・発信する力を身につけることをめざしています。情報リテラシーの必要性や価値を「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の内容や活動をとおして学習するとともに、著作権や引用をはじめとする知識や具体的な方法・技能に関しては、あらゆる場面で活用できるように各学年の資料編にまとめました。また、幅広い知識や確かなものの見方・考え方を身につけるために日頃から読書に親しみ、習慣化するように、それぞれの学習やテーマに関連して読書へ誘うブックガイドや名作コラムなどの他、多様な読書関連活動を実践する場を各所に設けています。

※代表的な教材と教育基本法第2条各号に掲げられた目標との照応は次項「④」に記しました。

3 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について、主な教材を取りあげ、該当ページを示しました。

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)	
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。		
本編	読むこと	詩	初恋	●文学史上著名な作者による文語のリズムで綴られた豊かで美しい詩を読むことをとおして、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を培うことをねらいとしています(第一号)。	150~151
		小説	握手	●誠実さと無償の愛を貫く登場人物の姿を、さまざまなエピソードを織り交ぜて情感深く描いた作品を読むことをとおして、豊かな情操と道徳心を培うこと(第一号)、また、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うとともに、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことをねらいとしています(第二号)。	30~40
		小説	花や咲く咲く	●戦時下の厳しい状況のもと、希望をもって生きる少女たちの姿を描いた小説を読むことをとおして、生命を尊ぶ態度を養うこと(第四号)、また、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと(第五号)をねらいとしています。	72~80
		俳句	俳句の世界	●我が国固有の言語文化として愛され続けてきた俳句の世界に触れ、そのよさと価値を理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	54~59
		評論	間の文化	●「間」を観点にして、我が国の文化の特徴を西洋との対比によって論じる文章を読むことをとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	20~24



評論「間の文化」より

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。	
	論説	フロン規制の物語	●地球環境を守るためのフロン規制について書かれた文章を読むことをとおして、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。	84～91
	論説	「文殊の知恵」の時代	●グローバル化する世界のもと持続可能な社会を築くためにも、多様な価値観をもつ人々と協力して知恵を生み出す力が必要であることを説く文章を読むことをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うこと(第二号)、また、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと(第四号)をねらいとしています。	176～178
国語の特質に関する事項	古文	和歌の世界—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	●我が国の美しい自然や豊かな心を描いた伝統的な言語文化である和歌の世界に触れ、そのよさと価値を理解することをとおして、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと(第四号)、また、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うこと(第五号)をねらいとしています。	104～114
	漢文	論語	●我が国に古くから親しまれている論語を読み味わうことをとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	124～127
書くこと	小論文	論理の展開を工夫して、説得力をもたせる	●友情についての自分の考えを小論文にまとめて発信し交流する活動をとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	46～51
	批評文	観察や分析をとおして、判断する	●社会生活の中から課題を取り出し、取材や調査を重ねながら批評文を書くことをとおして、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	142～147
話すこと・聞くこと	ブックトーク	状況に応じて話す力を養う	●個人が薦める本をお互いに紹介し合う学習活動をとおして、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を養うことをねらいとしています(第一号)。	66～71
	企画会議	合意を形成し、課題を解決する	●地域の活性化という課題に対して、実現のための方策を協力して見出そうとする活動をとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	96～101

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。	
資料編	◎幅広い知識を身につけ、自主および自律の精神を養うことに資するものとして、さまざまな学習機会を捉えて繰り返し活用すべき実践的知識や方法とともに、家庭学習を含めた自学自習に役立つ教材を「資料編」としてまとめました(第一号, 第二号)。			221~316
	読書の広場	小さな図書館	●「幅広い知識と教養」「真理の探求」「豊かな情操と道徳心」「勤労の精神」「生命や自然」「伝統と文化」「国際社会の平和」などを尊重し涵養するための読書活動を推進することを意図して、48冊の図書をテーマ別に紹介しています(第一号, 第二号, 第三号, 第四号, 第五号)。	222~227
		情報探しのヒント	●日本十進分類法やインターネットの検索方法などを提示し、さまざまな情報源にアクセスし、幅広い知識と教養を身につけたり、真理を求める態度を養ったりすることをねらいとしています(第一号)。	228~229
		狂言一柿山伏	●日本が世界に誇る伝統芸能である狂言の世界に親しむことをとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	234~239
	考える広場	話し合いの方法を選ぶ	●集団におけるコミュニケーションの方法を学ぶことで、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	262~263
参考資料	日本文学名作集		●奈良時代から現代の小説にいたるまで、各時代の代表的な作品やその冒頭を紹介した年表に親しむことをとおして、伝統と文化を尊重する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	270~273
	「読み方を学ぼう」一覧		●読みの方略を学ぶことをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。	309~316 (折り込み)

すべての学習者が学習しやすい紙面づくり

- カラーユニバーサルデザイン, ならびに特別支援教育の専門家の指導と校閲のもと, 識別しにくい配色は避け, 形や記号・番号, 説明文などの補助的な手がかりを設けました。また, 色の濃淡や野線などの工夫を凝らすことで, 誰もが使いやすい教科書となるように配慮しました。

環境にやさしい教科書

- 用紙については, 環境の保護, 資源の節約のため, 原料や製法に配慮した, 環境にやさしい紙を使用しています。
- インキについては, 植物由来の油および, それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ, 印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-71	中学校	国語	国語	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
15・三省堂	国語・929		現代の国語3	

1 編修上特に意を用いた点や特色

1 「つきたい力」の明確化

◎学習の見通しと振り返りの重視

3領域のすべての教材の冒頭に「つきたい力」として学習目標を提示し、教材の最後には学習を振り返る機会を設けています。身についた力を自分で診断・評価し、次に生かすしくみです。

◎段階的・系統的な配列

学習指導要領の指導事項をふまえて、学習の系統化を図り、基礎・基本を段階的に、確実に習得できるようにしています。「読むこと」の教材の「学びの道しるべ」^{▶1}では、丁寧かつ簡潔に学習のプロセスを示しました。

2 「学び方」を学ぶ

◎読みのストラテジー（「読み方を学ぼう」^{▶2}）

「何をどのように読めば力がつくのか」という読みの方略を、図解で示しました。他教材や自主的な読書、表現活動などで繰り返し活用することができる全17の方略を3学年で配置しています。

▶「対比」(p27), 「小見出し」(p95), 「人物設定」(p170) など

◎共同的問題解決のための思考と方法

日常生活や現代社会における課題を取りあげ、集団で考えたり問題解決したりする機会と場を充実させました。シミュレーション（モデルを使った実験）などの活動を組み入れるなど、生きて働くことばの力の習得に力を入れています。

▶分類・比較・推論などの思考法 (p26/p138/p142), 質問や対話による意見の構築や合意形成 (p96/p181) など

3 主体的な学びを促す

◎学びの意欲の創出

知る喜びやわかる楽しさ、達成感もてるよう、学習者の知的好奇心や探究心を喚起する文章・題材を選定する、学習のポイントを「見える化」する、対話や話し合いなどの共同的な言語活動の場を適切に設けるなどの工夫をしています。「やってみよう」「できた、わかった」という実感や仲間とともに学ぶ楽しさが体感できます。

◎伝統的な言語文化

日本の伝統的な言語文化として代表的な文章を、写真や絵巻とともに提示するなど、学習者の興味・関心に配慮しています。3年間をとおして基礎的な知識・教養を身につけ、生涯にわたりそれらに親しみ、学び続ける心をはぐくみます。

◎学びやすく、教えやすいよう次の点を大切にしています。

- 小学校と中学校の接続に配慮した導入
- 学習者の発達段階や学校生活・日常生活のリズムに配慮し、自然な流れで年間指導計画ができる教材配列
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域のバランスや関連性を考慮した単元構成

▶1 「学びの道しるべ」の構造 （「読むこと」）

学習目標の再提示

1 内容を整理しよう

情報の整理と確認
個・共同の学び

2 考えを深めよう

解釈や評価
共同の学び

● 学びをひろげよう

多様な言語活動

振り返りの機会

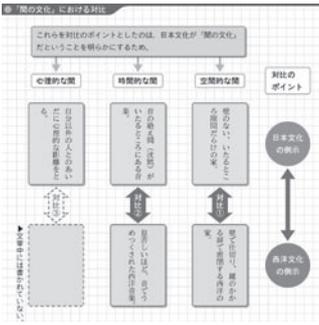
（身についた力の確認）

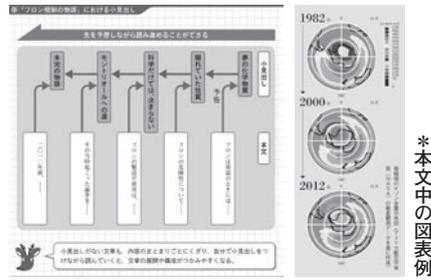
▶2 「読み方を学ぼう」の一覧

1年	2年	3年
① 説明文の基本構造	① 詩の構成	① 隠された意味
② 人物相関図	② 象徴	② 対比
③ 図表と文章	③ 段落の大中小	③ 回想
④ 三角ロジック	④ 物語の転換点	④ 小見出し
⑤ 語り手	⑤ 例示	⑤ 人物設定
⑥ 情景描写	⑥ 視点人物	

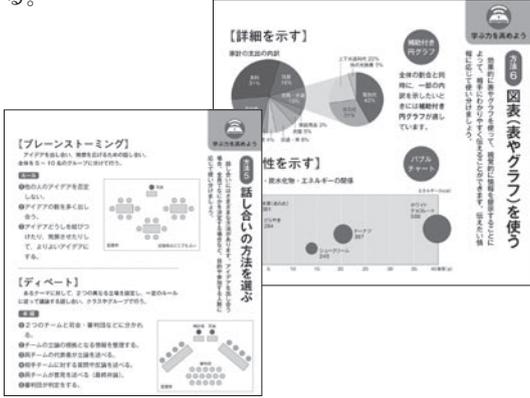
それぞれの方略は読むことの教材の中でしっかり身につくように「学びの道しるべ」とも関連づけています。

2 対照表

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
学びの扉をひらく	詩	水のようなひと (おーなり由子)	●読むア 語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読む 	14~18	2
	読み方を学ぼう①	【隠された意味】 国語辞典に載っていない意味		19	
	評論	間の文化 (長谷川権)	●読むイ 文章の論理の展開の仕方をとらえる ●読むエ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつ 	20~26	3
	読み方を学ぼう②	【対比】 比べることで明確に	*読み方を学ぼう ②の紙面(一部)	27	
1 かかわりを捉える	小説	握手 (井上ひさし)	●読むイ 場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てる [言語活動] 読むア 小説を読んで批評する 	30~42	4
	読み方を学ぼう③	【回想】 時は行きつ戻りつ		43	
	ことば発見 1	和語・漢語・外来語	●伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(以下「伝国」)イ(イ) 和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにする	44~45	1
	書く	論理の展開を工夫して、説得力をもたせる (小論文)	●書くイ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書く ●書くウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整える ●伝国ア(イ) 古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書く	46~51	5
2 ことばを磨く	俳句	俳句の世界 俳句十句	●読むア 語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読む	54~57 58~61	3
	話す・聞く	表現プラザ1 句会をひらこう	●話す・聞くエ 話合いが効果的に展開するように進行の仕方工夫し、互いの考えを生かし合う	62~63	2
	文法のまど	表現につながる文法		64	1
	話す・聞く	状況に応じて話す力を養う (ブックトーク)	●話す・聞くイ 場の状況や相手の様子に応じて話す ●話す・聞くウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする [言語活動] 話す・聞くア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりする 	66~71	4

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
2 ことを 磨く	読書・小説	花や咲く咲く (あさのあつこ)	●読むオ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする [言語活動] 読むウ 自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考える	72～81	1
	コラム	世界一長い小説		82	
3 多角的に 考える	論説	フロン規制の物語 ——〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉 のはざままで (神里達博)	●読むイ 文章の論理の展開の仕方をとらえ、内容の理解に役立てる ●読むエ 文章を読んで考え、自分の意見をもつ  *本文中の図表例	84～94	4
	読み方を学ぼう④	【小見出し】 要点をひとめで	*読み方を学ぼう④の紙面 (一部)	95	
	話す・聞く	合意を形成し、課題を解決する (企画会議)	●話す・聞くア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、説得力のある話をする ●話す・聞くエ 進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う [言語活動] イ 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合う	96～101	5
古典に 学ぶ	古文	和歌の世界——万葉集・ 古今和歌集・新古今和歌集	●読むア 語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読む	104～115	4
	コラム	コミュニケーションツール としての歌	●伝国ア(ア) 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむ	116～117	
	古文	おくのほそ道 (松尾芭蕉)	●読むア 語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読む ●伝国ア(ア) 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむ 	118～123	3
	漢文	論語	●読むエ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつ ●伝国ア(ア) 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむ	124～126	2
	古典情報	漢文の読み方		127	
	漢字のしくみ	慣用句・ことわざ・四字熟語	●伝国イ(イ) 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにする	128～129	1
4 情報を 読み解く	論説	情報社会を生きる ——メディア・リテラシー (菅谷明子)	●読むア 語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読む ●読むウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価する [言語活動] 読むイ 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読む 	132～137	4
	報道	新聞記事を読み比べよう		138～139	
	ことば発見 2	敬語の機能と敬意表現	●伝国イ(ア) 敬語を社会生活の中で適切に使う	140～141	1

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数	
4	情報を読み解く	書く	<p>観察や分析をとおして、判断する (批評文)</p> <p>●書くア 社会生活の中から課題を決め、文章の形態を選択して適切な構成を工夫する</p> <p>●書くエ 文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深める</p> <p>[言語活動] 書くア 関心のある事柄について批評する文章を書く</p>	142～147	6	
5	読みを深め合う	詩	初恋 (島崎藤村)	●読むウ 表現の仕方について評価する	150～152	2
		コラム	文語定型詩と口語自由詩		153	
		小説	故郷 (魯迅 [訳] 竹内好)	●読むイ 場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てる	154～169	5
		読み方を学ぼう⑤	【人物設定】 仕組まれた関係	[言語活動] 読むア 小説を読んで批評する		
		ことば発見3	ことばの現在・過去・未来	●伝国イ(ア) 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解する	171	1
書く	表現プラザ2 漢字一字で表現すると	●書くエ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深める	172～173	3		
6	広がる世界へ	論説	「文殊の知恵」の時代 (北川達夫)	●読むエ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつ	176～180	2
		話す・聞く	問いをもとに語り合う (ワールド・カフェ)	●話す・聞くイ 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使う		
		小説	坊っちゃん (夏目漱石)	●読むイ 場面や登場人物の設定の仕方をとらえる	184～197	3
		コラム	夏目漱石の世界	●読むオ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする		
話す・聞く/ 書く	中学校生活を振り返って (名言集)	●話す・聞くウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のもの見方や考え方を深める	201～205	7		
		●書くア 文章の形態を選択して適切な構成を工夫する				

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
6 広がる世界へ	歌のことば	誓い		206～207	
		文法のまとめ [3年生]		208～211	1
		三年間の文法の総まとめ	●伝国1年イ(エ) 単語の類別 ●伝国2年イ(ウ) 文の成分、文の構成 イ(エ) 単語の活用、助詞や助動詞	212～219	
	コラム	助数詞		220	
資料編	①読書の広場	読書ガイダンス 小さな図書館	◎幅広い読書への誘いと情報活用のヒントを示し、読書に親しむ態度の育成や情報機器の活用を図っている。 	222～227	5
		読書ガイダンス 情報探しのヒント		228～229	
		読書ガイダンス 情報活用のヒント		230～231	
		見て楽しむ 能・狂言の世界		232～233	
		声に出して読む 狂言 柿山伏		234～239	
		古典を楽しむ 近世の短詩 俳句・川柳・狂歌		240～243	
		読書 武器なき「出陣」 (船戸政一)		244～249	
	②考える広場	読む力を伸ばそう 「 」 (大崎茂芳)	◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習や、他教科の学習、日常生活における言語活動を支える学びの方法を整理し、国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成や、伝え合う力を高めることを図っている。 	250～255	
		学ぶ力を高めよう 方法1 さまざまな思考方法を使う		256～257	
		学ぶ力を高めよう 方法2 メモを活用する		258～259	
		学ぶ力を高めよう 方法3 インタビューをする		260	
		学ぶ力を高めよう 方法4 アンケートをとる		261	
		学ぶ力を高めよう 方法5 話し合いの方法を選ぶ		262～263	
		学ぶ力を高めよう 方法6 図表(表やグラフ)を使う		264	
	③参考資料	数字の書き表し方	◎国語科の学習を効果的に進める上で役立つ知識を整理して示し、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度の育成を図っている。 	266	
		手紙・はがきの書き方		267	
原稿用紙の使い方		268			
推敲の仕方と観点		269			
日本文学名作集		270～273			
学習用語辞典		274～279			
三年生で学ぶ漢字字典		280～290			
都道府県名の一覧		291			
三年生で学ぶ音訓		292			
小学校六年生で学習した漢字		293			
常用漢字表音訓一覧	294～306				
常用漢字表付表	307				
アルバムディクショナリー	308				
折り込み	「読み方を学ぼう」一覧				
				計	95

※新出漢字については、「読むこと」教材の中で学習するとともに、年間を通してバランスよく学習できるよう、漢字の取り立て教材「漢字を身につけよう」を各単元に年間8箇所(各1時間)配置した。